

事務事業調書	No	183	課名	社会福祉課	起案者	大見千里
平成23年度			係名	社会福祉係	決裁者	清水信行
事業種別	市民サービス	区分	継続		業務一覧No	5
事務事業名	社会福祉協議会運営支援事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

### 1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 6 地域福祉 1 住民主体の地域福祉の推進 1 地域での助け合い・支え合い	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	15-5-5
		総合計画以外の計画	地域福祉計画
		関連する総合計画の施策	
性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの(選択的事業)	法定受託事務	無
根拠法令	有 社会福祉法		
実施方法	全部委託	委託先	行政関連団体
実施期間	開始 平成元年度	経過 22年目	終了
公約・議会答弁	無		期間
陳情・市民要望	無		

### 2 事務事業の概要

求める成果	社会福祉協議会が 誰(受益者)が	～になる	社会福祉活動を実施できるようになる
事務事業の内容	社会福祉協議会は社会福祉法によって設立し、安城市における社会福祉事業の能率的運営と組織的活動を推進し、地域福祉の推進を図ることを目的として様々な事業を行なっています。その社会福祉協議会へ、社会福祉協議会運営費補助・広報紙発行事業補助・善意銀行事業補助・心配ごと相談事業補助・福祉サービス利用援助事業補助、障害者福祉事業補助等を実施することにより、援護を必要とする者等が社会福祉協議会から社会福祉活動を受けることができるように支援しています。		
事務事業進捗状況	広報紙発行事業発行回数 1種類 各広報紙年12回／67,000部 善意銀行事業貸し付け数 64件 心配ごと相談事業相談開催日 241日 相談件数 65件 権利擁護事業実利用件数 70件 障害者福祉事業障害者・原爆被爆者・特定疾患者への見舞対象者数 500人		
改善・対策の履歴	3種類の広報紙を1種類に統合し、毎月発行とすることにより、経費が削減されながらも、情報発信が行いややすくなりました。(平成21年度)		
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○		

### 3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
総事業費 f=a+d+e	127,821	135,192	183,412	157,893	200,412	172,943	135,766
財源計 a	127,746	135,117	181,755	156,236	198,529	171,060	133,658
コスト							
財源の内訳							
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0
その他( )	0	0	830	830	251	340	0
一般財源	127,746	135,117	180,925	155,406	198,278	170,720	133,658
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	0
職員人件費 d	75	75	1,657	1,657	1,883	1,883	2,108
内訳 従事職員数	0.01	0.01	0.22	0.22	0.25	0.25	0.28
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0

#### 4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名 (活動内容)	運営支援補助事務	見込(単位)	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	1.00	
	活動②	指標名(単位)	補助事務(式)	活動の総事業費f 実績	75	151	377	
				単位コストg=f÷b 実績	75.30	150.60	376.50	
	活動③	活動名 (活動内容)	運営支援事務	見込(単位)	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	1.00	
活動	活動②	指標名(単位)	支援事務(式)	活動の総事業費f 実績	135,117	157,742	172,566	
				単位コストg=f÷b 実績	135,117.00	157,742.00	172,566.00	
	活動③	指標名(単位)		見込(単位)				
				実績b(単位)				
				活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

#### 5 (1) 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	従事職員の確保(人)	見込(単位)	17.00	22.00	23.00	22.00
			実績(単位)	17.00	22.00	23.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
成果	目標成果指標値		0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位) 心配ごと相談実施率(%)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
			見込(単位)	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績(単位)	100.00	100.00	100.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
	目標成果指標値		0.00	目標達成年度			

#### 5 (2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入	
	福祉啓発用広報紙「社協だより」の発行等により、市民の福祉意識の高揚が図れました。	

#### 6 単位コストと成果の分析

分析	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	単位コスト	この事業に係る経費は大半が人件費であるため、職員の異動等に伴う人件費コストの増減により単位コストが変動します。
	成果1,2	心配ごと相談を希望する者全てに対応できています。

#### 7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する	
	社会福祉協議会の活動財源としては会費や賛助会費などの自主財源もあることから補助金に依存するだけでなく、積極的に自主財源の確保に努めるよう指導すること。	

#### 8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	福祉ニーズの多様化に対応できる運営ができるような指導に心がけます。